

日本生体医工学会 専門別研究会  
第 11 回 fNIRS 計測・解析技術研究会

2018 年 10 月 18 日(木) 13:30 ~15:00

機械振興会館 B3 階 3 号室

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8

■話題提供：

垣花 泰之 先生

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 救急・集中治療医学分野

「近赤外線分光法の新たな可能性を探る」

**抄録：** 近年、心肺蘇生法において、近赤外線分光法(NIRS)による局所脳酸素飽和度(rSO<sub>2</sub>)モニタリングが大きな注目を集めている。それは、心停止患者の rSO<sub>2</sub>値から脳神経学的予後が予測できるだけでなく、胸骨圧迫時の rSO<sub>2</sub>値が自己心拍再開を成功させるための重要な規定因子である可能性が示されたためである。そこで今回の講演では、「NIRSの新たな可能性を探る」という観点から、救急・集中治療領域におけるNIRSの現状と今後の展開を考察する。

よろしくご参集のほど、お願いいたします。

アクセスについては以下をご参照下さい。

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>